

カラーユニバーサルデザイン⁽¹²⁾ って何(なに)?

う 生まれつきの色弱 (赤 緑 色弱) の人は、日本人

だんせい やく 男性の約20人に1人、女性にん ひとりの約500人に1人、

にほんぜんたい やく 日本全体では、約320万人まんにん いいるとされています。

※一般の見え方



※色弱者 (P型) のシミュレーション



だれ 誰にでも正しい情報ただ じょうほう つたが伝わるように、色の使い方

もじ 文字の形かたちなどに心こころを配ることを「カラーユニバーサルデザイン」と言いいます。

たとえば、
赤と黒でデザインされた
標識がこんな感じに見え
ています。



カラーユニバーサルデザインで改善!

もっと たいせつ

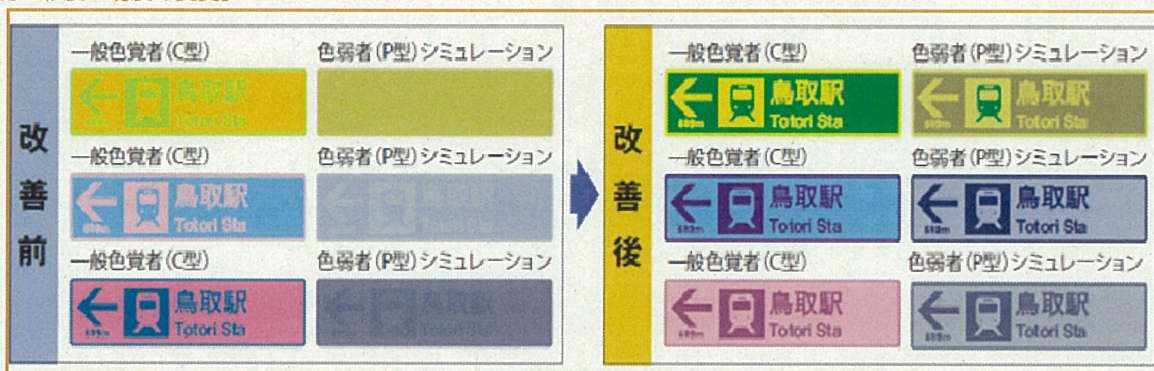
カラーユニバーサルデザインで最も大切なことは、
だれ みわ いろ つか
誰にでも見分けやすい色を使うことです。

【カラーユニバーサルデザインの3つのポイント】

1. できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ
2. 色を見分けにくい人にも情報が伝わるようにする
3. 色の名前を用いたコミュニケーションをとる

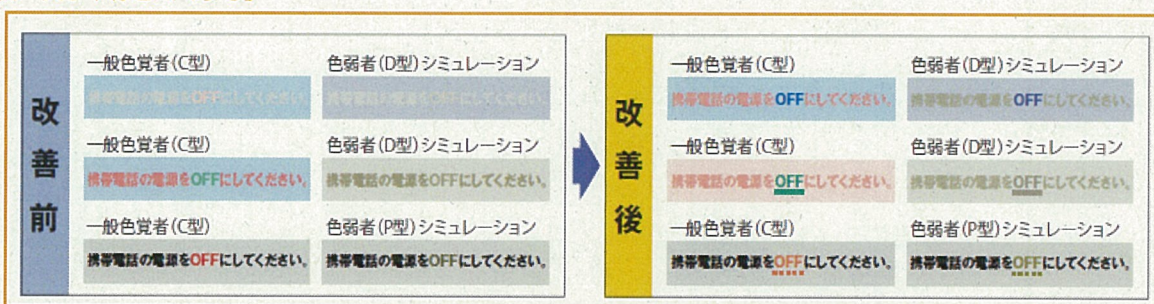
1. できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ

【具体例：彩度・明度の変更】



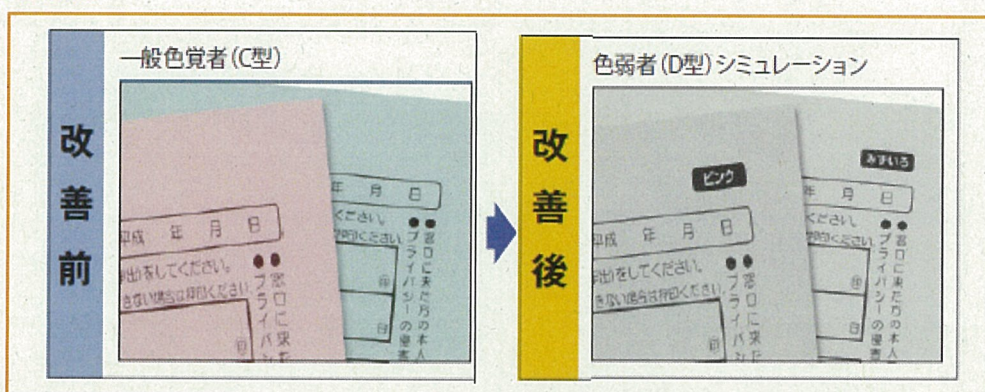
2. 色を見分けにくい人にも情報が伝わるようにする

【具体例：文字や線を太くする】



3. 色の名前を用いたコミュニケーションをとる

【具体例：申請用紙】



みちか

身近なカラーユニバーサルデザイン

1. エスカレーター (見分けやすい色使い)



黄色い部分は、エスカレーターの機能上危険なところです。サンダルや衣類などが挟み込まれないように黄色い線で注意を促しています。

見分けやすい色使いにすることで、注意を促しています。

2. ゲートバー (見分けやすい色使い)



テレビリモコンに付いているカラーボタンは色名を表示することで、何色か分かるようになっています。

3. テレビリモコン (色名の表示)



一本一本に何色かを表示することで、どの色か見分けられるようになっています。

4. クレヨン (色名の表示)

